

第51回春のハンギングバスケット&コンテナ作品展 審査結果

マスター部門

賞	作品種類	名 前	住 所
日本ハンギングバスケット協会理事長賞 草津市長賞	壁かけ	高見 周一	大阪府八尾市
草津市議会議長賞	壁かけ	村山 伸子	滋賀県大津市
草津市立水生植物公園 みずの森園長賞	壁かけ	宇野 容子	三重県松阪市
金 賞	壁かけ	板倉 聖子	愛知県豊田市
金 賞	壁かけ	小松 清子	滋賀県大津市
銀 賞	壁かけ	岸田 茂子	滋賀県大津市
銀 賞	壁かけ	中村 純子	滋賀県大津市
銅 賞	コンテナ	飯尾 健治	三重県津市
銅 賞	壁かけ	野田 有久美	岡山県真庭市
奨励賞	壁かけ	市川 ななみ	三重県四日市市
奨励賞	壁かけ	岩本 真美	長野県松本市
奨励賞	コンテナ	大久保 澄子	滋賀県大津市
奨励賞	壁かけ	久保田 美代子	滋賀県大津市
奨励賞	壁かけ	中村 典子	滋賀県草津市
奨励賞	壁かけ	橋本 知子	愛知県安城市
奨励賞	壁かけ	宮田 由紀子	三重県名張市

※同賞の中の順位は五十音順になります。

一般部門

賞	作品種類	名 前	住 所
草津市長賞	壁かけ	吉川 美沙	大阪府河内長野市
草津市議会議長賞	壁かけ	金森 雅子	三重県津市
草津市立水生植物公園 みずの森園長賞	コンテナ	樋口 美保	三重県津市
金 賞	壁かけ	水永 明美	広島県広島市
銀 賞	コンテナ	唐木 恵理子	滋賀県野洲市
銅 賞	コンテナ	川嶋 節子	滋賀県蒲生郡
努力賞	壁かけ	新井 真知子	滋賀県大津市

※同賞の中の順位は五十音順になります。

一鉢グランプリ部門

賞	名 前	住 所
グランプリ(1位)	小松 由佳	滋賀県大津市

第51回春のハンギングバスケット&コンテナ展 審査講評

マスター部門

○草津市長賞、日本ハンギングバスケット協会理事長賞 高見 周一 様

色合いが爽やかで背景とともに全体の統一感があり、この季節にとってもよく合っている。形が綺麗でボリューム感もあり、お手本のような作品に仕上がっている。

○草津市議会議長賞 村山 伸子 様

色々な花を加えながら小型の花にすることで、全体としての統一感が図られている。カラフルで楽しい作品。

○草津市立水生植物公園みずの森園長賞 宇野 容子 様

全体にボリューム感があり、ダイナミックな作品。ワイルドな背景に対し赤紫のペチュニアやユーフォルビアがよく合っている。

○金賞 板倉 聖子 様

斑入りコゴメウツギの優しい色合いなど全体的に抑えた色使いによって知的で上品な作品に仕上がっている。背景の青色のラインがポイントとなって全体を引き立たせている。

○金賞 小松 清子 様

ペチュニアが上手く使われていて、シックにまとまった素敵な作品に仕上がっている。シンプルな背景ともよく合っている。

○銀賞 岸田 茂子 様

アジサイの不思議な色合いと背景のデザインがととてもよく合っていて、他にない作品に仕上がっている。近くで見ても十分楽しめる。

○銀賞 中村 純子 様

珍しい色合いのペチュニアと背景の色合い、質感がととてもよく合っていて、一体感のある作品に仕上がっている。

○銅賞 飯尾 健治 様

アジサイの色合いを活かすためのシモツケの選択など、植え付けに工夫がみられた。華やかな和風のテイストにうまくまとめられている。

○銅賞 野田 有久美 様

控えめな色合いの植物に対し豪華な背景を組み合わせることで、一体感のある作品に仕上がっている。キンギョソウなどもしっかり植え付けされており、技術力の高さを感じる。

一般部門

○草津市長賞 吉川 美沙 様

形や色合い、全体のバランスもしっかり取られていて、作品としての完成度が高い。

○草津市議会議長賞 金森 雅子 様

たくさんの種類をうまく植え付けることでボリューム感のある作品に仕上がっている。紫のペチュニアや白のマーガレットの配置の工夫などで立体感も感じられる。

○草津市立水生植物公園みずの森園長賞 樋口 美保 様

花の使い方が良く、落ち着いた色合いの中で引き立っている。また、空間の取り方のバランスも良く、和の雰囲気うまく表現されている。

○金賞 水永 明美 様

全体に抑えた色使いからくるまとまり感がうまく表現されていて、じっくり鑑賞できる作品になっている。

○銀賞 唐木 恵理子 様

形がユニークで、全体的にアーシーな色使いが作品としてうまくまとめられている。

○銅賞 川嶋 節子 様

植物の組み合わせと空間を活かした配置で作品としてかわいらしくまとまっている。

一鉢グランプリ

○1位 小松 由佳 様

形、色使いなどバランスよく植え付けされている。今後楽しむことを考えると鉢とのバランスも良く、玄関先に置くなど生活に取り入れやすい作品。

全体講評

●マスタ一部門

今年は雨の中での審査となったため、植え付けの技術力など審査しにくい部分もあったが、色合いなどよく見える部分もあった。出品された作品はどれも非常に素晴らしい力作ぞろいで、技術力が高いことを改めて感じた。コロナがピークの時は華やかな色使いが多かったが、今回はシックにまとめた作品が増えていて、皆さんの気分の移り変わりを感じた。

●一般部門

回数を重ねるごとに質の高い作品が増えている。一般部門としては出品しにくく感じるかもしれないが、多くの方のチャレンジに今後も期待したい。

●一鉢部門

入門部門として一鉢部門があるが、こちらも年々作品の質があがっており、審査する者にとっても大変楽しみとなっている。